

市民公開講演会

入場
無料

自分らしい「生き方」と 「死に方」を求めて

平成23年 3月 17日(木)

開場／13:30～ 開会／14:00～

場所：山陽小野田市立 中央図書館 2階視聴覚ホール

講演：『終末期医療とは』

講師：松本 昇先生（伊藤医院院長・医学博士）

ビデオ上映：

『自分らしい「生き方」と「死に方」を求めて』

講演：『尊厳死(リビング・ウイル)について』

講師：古田隆規先生

(日本尊厳死協会中国地方支部支部長・弁護士)



古田隆規先生

■尊厳死とは

傷病により「不治かつ末期」になったときに、自分の意思で、死にゆく過程を引き延ばすだけに過ぎない延命措置をやめてもらい、人間としての尊厳を保ちながら死を迎えることです。

■尊厳死は安楽死とは違います

安楽死は、助かる見込みがないのに、耐え難い苦痛から逃れることもできない患者の自発的要請にこたえて、医師あるいは第三者が積極的な行為で患者を早く死なせることです。

■リビング・ウイルとは

治る見込みのない病気にかかり、死期が迫ったときに「尊厳死の宣言書」（リビング・ウイル）を医師に提示して、人間らしく安らかに自然な死をとげる権利で、自然な死を求めするために自発的意思で明示した「生前発効の遺言書」です。

高齢化社会に入り、「生と死」について、語り合う機会が多くなりました。元気なうちに、いざという時に備えて、自分の「死に方」について考えてみませんか。

■主催／山陽小野田市立中央図書館・山陽小野田シネマクラブ

■共催／日本尊厳死協会中国地方支部

■後援／山陽小野田市、山陽小野田市社会福祉協議会、山陽小野田市女性団体連絡協議会、山陽小野田市老人クラブ連合会、小野田市医師会、厚狭郡医師会、宇部日報社 他

■お問い合わせ／山陽小野田シネマクラブ（0836-83-8822 河村）

（財）山口県ひとづくり財団助成事業